

仲間を仲間と
共に

大会



P 2~3

予算

補正予算

P 4

審議

私の判断

P 5~13

町政を
問う

一般質問 8名が登壇

予算9月会議



地域振興施設 整備事業補助金

補正予算額：

1千176万5千円

(総務課 総務係)

継続

自治体機能を維持し、共助による健やかな生活のために必要な施設整備を支援します。
(公民館、防犯灯、放送施設等の新設、維持補修に係る一部の助成)

最南端から元気(特産品) を贈ろう事業

補正予算額：

500万円

(商工観光課 農商工連携係)

新規

新型コロナウイルス感染症の影響で、南大隅町へ帰省できない家族や友人などへ、お歳暮の時期に合わせて町内の特産品等を贈答品として町外の方に贈る場合、送料を町が負担します。



子育て世帯生活 支援特別給付金

補正予算額：

697万1千円

(介護福祉課 福祉係)

新規

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、低所得の子育て世帯に、子育て世帯生活支援特別給付金を支給します。

- 児童一人当たり5万円



JA 根占選果場 ピーマン自動包装機 更新補助金

補正予算額：

164万6千円

(経済課 農政係)

新規

購入金額の2分の1を鹿児島きもつき農協、残額を南大隅町・錦江町で、栽培面積の割合により助成を行うものです。ピーマン生産者の出荷安定かつ、経営安定につながります。

事業費	793万3千円	(内訳)
鹿児島きもつき	396万6千円	
錦江町	232万1千円	
南大隅町	164万6千円	



注目すべき補正

公用車車庫等 整備事業

補正予算額：

4千576万7千円

(総務課 庁舎整備室)

新規

庁舎周辺の整備を進めるため、今年度から2ヵ年計画で公用車車庫2棟の建築を行います。備蓄倉庫を配備し、災害時用の食用備蓄品等も安全な環境で保管できるようになります。



南大隅町 スマイル支え合い活動 事業補助金

補正予算額：

1千100万円

(総務課 総務係)

新規

自治会チャレンジ創生補助と元気みなぎる補助を融合した新しい補助金制度です。自治会のコミュニティ機能を維持するために必要な活動を支援します。

感染拡大防止事業 (保健センター改修等事業)

補正予算額：

433万8千円

(町民保健課 保健衛生係)

新規

保健センターは、幅広い年齢層において利用されており、さらに、災害時の避難場所にも指定されています。施設内の環境整備と感染拡大対策を施すとともに、空気洗浄・検温機器等を購入し集団感染対策を図ります。



公共的空間 安全安心確保事業

補正予算額：

346万5千円

(教育振興課 教育総務係)

新規

学校施設の感染症対策を行ないます。
(消毒液、消毒液スタンド、顔認証型サーマルカメラ・空気清浄機)
※この他：学校給食関係で27万6千円の事業費
社会教育関係で169万6千円の事業費で上記の備品等を購入します。

町政を問う!

9月会議

一般質問



質問順	質問事項	質問議員
1	・農業振興について ・コロナ禍での行政対策について (6ページ)	後藤道子
2	・観光振興について (7ページ)	幸福恵吾
3	・空き家対策について ・漁港・港湾の機能強化事業について (8ページ)	木佐貫徳和
4	・有害鳥獣対策について (9ページ)	大村明雄
5	・動物の愛護及び管理について ・肝属郡医師会立病院建替え計画について ・新型コロナウイルス対策について (10ページ)	大坪満寿子
6	・耕作放棄地の解消対策について (11ページ)	上之園健三
7	・副町長の選任について ・多目的健康広場について ・町の交通サービスについて (12ページ)	津崎淳子
8	・危機管理体制について ・減災対策について (13ページ)	森田重義

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点を資し、所信の表明を求めるもので、議員固有の権能として与えられたものです。

一人当たり持ち時間は、答弁を含め60分です。掲載されている内容は、質問者自身が要約し広報委員が構成したものです。

※本議場は、登壇席、質問席に新型コロナウイルス感染予防対策として、飛沫拡散防止にアクリル板を設置しております。

農業公社設立の施策は



町長 先進事例を参考に、本町の現状を踏まえ方向性を固める

答

議員 公益法人か一般社団法人かによって、方向性が変わり、予算体系も変わると考える現状は、農家の高齢化や後継者不足など、問題は多岐にわたります。

しかしながら現在Uターン、Iターンの若者の移住者が農業や畜産に従事しています。就農者の受け皿や初期投資のサポートなども、農業公社でできるのか。

町長 農業公社の目的をどの範囲までとするか、経済課、ブロンズ人材センター、移住者の方々、皆さんの意見を賜りつつ、議員の質問に可能なかぎり、新たな移住定住者が増えるような公社の設立を目指したいと考えます。

議員 国の特定地域づくり事業を ご存じですか。

人口減少が激しい中山間地域や離島の人手不足を解消するため国が設けた新制度です。移住定住の方々にふさわしい事業と考えます。公社設立のなかに検討できないか。

経済課 特定地域づくり事業について詳細に把握しておりませんが、設立にあたり準備委員会において、情報収集をしていく考えです。

議員 この特定地域づくり事業は、人口減少にあえぐ地域で様々な仕事を組み合わせた魅力的な働き方を提示したIターンUターン者を呼び込むための事業です。是非検討していただきたい。

コロナ禍での新しいイベントの企画は

町長 オンラインによるイベントなど 創意工夫した事業展開を

答

議員 コロナ禍でのイベント開催が困難だということは理解しているが、町民が閉塞感に陥る危険性があるのではないかと考え、コロナ禍でもできるようなイベントを企画するべき時にきている。コロナ禍は災害と同レベルで考え、災害時に町民に対して行う支援に値するような新しい企画の検討をされているか。

町長 感染症の拡大を阻止する観点から、令和2年度以降各種イベントにつきましては、それぞれの実行委員会において中止の判断をしているところです。

このような中、東京品川区の大崎駅前マルシェにおいて、オンラインを活用して、本町のマンゴーとパインアップルの販売を行いました。

※1 マルシェ…人通りが多い場所に
出店した集合体を指す。
※2 オンライン…コンピュータなどの機器がネットワーク接続された状態。

議員 オンラインによるイベントは今後、大変重要になってくると考えます。

町民に対して、肉祭りや魚祭りを企画して町民限定での持ち帰りイベントの考えはないか。

町長 今の段階では開催はできないです。しかしながら、特にねじめ黄金カンパチ、そして肉なども出荷できず、在庫が多いことなどから要望等も聞いております。年末の経済対策での考えを持ってまいります。

議員 コロナ禍で漁業関係者も疲弊しております。学校給食等での利用も検討していただきたい。

コロナは災害と同じ扱いと考えるので、行政の支援が必要です。

幸福 恵吾 議員

今後の観光振興について



町長
地元の農林水産物を強くアピールし、
来訪される旅行者を増やし、
さらに手軽なお土産品開発に
取り組みます

議員
今後の観光振興について
町長の方針は。

町長
佐多岬や雄川の滝など観光資源の整備、いわゆるハード面はほぼ完了したという認識です。今後は観光資源を活かしソフト面を充実させることが、私の観光振興におけるの基本方針であります。具体的には、地元の農林水産物を強くアピールし、食を楽しむに訪される旅行者やリピーターを増やす仕掛け、さらに手軽なお土産品開発に取り組みたいと考えております。さらに、将来的には観光客の皆様が宿泊して本町の魅力を堪能していただける体制づくりを目指しています。

議員
観光振興は、観光客が町へお金を落とすだけでなく、魅力ある町のPRから実際に来ていただくことで、移住定住につながるという狙いもあると思います。大きな打撃を受けている観光産業に関連する事業者に対しても、町としての方向性や支援体制を具体的に打ち出していきたい。

一般社団法人となった南大隅町観光協会との今年度事業の契約内容および支援はどういったものか。

観光課
業務委託契約について業、経済課関連が1事業、計5件で1千538万9千円となっています。

町からの支援としましては、人的支援として一名を派遣しています。また、補助金では、公益性の高い事業を補助対象として2千26万3千円を交付しております。

議員
私のもとに届いた地域の意見として、観光協会は一体何をしているのか、地元企業と幅広く連携して観光産業の中心として動いてくれるんじゃないのかという声が聞かれます。観光関連事業の評価というものは数値化しにくいものであると思いますが、町から2千万を超える補助があるにも関わらず、町内事業者から不満の声があがるのはどうなのか。

観光課
観光協会としても、今のコロナ禍であるからこそできることとして、国の100パーセント補助事業を活用して佐多岬の新たな魅力を創出するための夜のナイトプログラム等、アフターコロナを見据えた事業に取り組んでいただいています。ただ、やはり会員の方に必要とされる組織となるように、町としても働きかけと提言をしつかりやってまいりたいと考えています。

町長
観光協会が今後、観光産業と本町の基幹産業である一次産業を結びつける役割、それに必要な人材の発掘・育成などを含め、人と人、人と事業者、事業者と事業者との連絡調整などを、戦略的に実行できる専門集団になり得るように期待しているところであります。最終的には自主財源の確保など自立自走していく方向性を見据えた上で、観光振興事業の業務委託や運営費補助を効果的に行い、お互いに連携・協力し合いながら観光振興を推進したいと考えております。

議員
民間主体で自由度や利益追求を重視して運営を進める法人であれば、本主にノウハウのある事業だけを委託事業として契約し、運営補助は打ち切り、あとは経営陣の判断に任せるべきだと思います。しかし、私自身の南大隅町観光協会への期待は、観光振興に取り組み町内事業所の中心的な存在となつていただくことです。町としての観光振興への方向性も含めて、今後引き続き提言していききたいと思います。

議員のひとり言

議員となり半年が過ぎ、1期で自分がやり遂げるべき使命について考える。

十分居住できる家屋の解体を見受けるが何か対策は



町長 活用方法を提案しているが最終的には所有者の判断 答

議員 最近何件ほど取り壊されているか。

建設課 平成30年度から事業がスタートし、30年度が24件、令和元年度が22件、2年度が17件で合計63件です。

議員 申請のあった住宅を、まだ十分住めるので、残すことはできないかなどの相談はしないのか。

建設課 結果として申請のあった分63件、全部交付対象となつたところです。

議員 空き家調査で、すぐ住める家、荷物の入っている家、多少修理をすれば住める家、取り

壊しが望ましい家と区別されていると思うが町内にどの程度あるか。

建設課 空き家の総数は1276棟ある。最も状態のいいA判定408棟、B判定380棟、C判定235棟、D判定164棟、E判定が89棟です。解体が望ましい空き家はD、E判定だとすると253棟になります。

議員 調査での解体が望ましいは十分住めるので所有者を説得する方法がいいのではないか。

町長 空き家バンクへの登録の可否とか、そこを含めた形は予算をかけずにできるので、十分意見を反映させていきます。

議員 私の家の周りも、何年も閉まったままの家が20数件ある。再度町内の空き家を1軒1軒当たって活用できる方法をとるべきだと思う。所有者と個別に協議をしないといけないと思うが、職員を配置して協議できるシステムはできないか。

町長 空き家の件について、居住可能な家を大事にしていく、非常に大事な事だと思います。専任で置くという部分については、全体の業務バランスがあるので、空き家の有効な利活用ができる業務体制について考えてみます。

漁港荷揚げ場の一部改修は考えられないか

町長 潮の干満差により船と護岸に高低差が生じ、漁具の積み下ろしや魚の水揚げ等に困難が生じていることから対応策が必要であると確認しています。

今後は、各漁港の要望を聴き、役割や機能を踏まえたうえで、対応策を講じます。

議員 物揚げ場の機能については、平均干潮面がプラスマインス0で平均満潮面で2.7m上がる。荷捌き所の近くに階段があり、そこを荷物を持って下りておられる。漁民も高齢化し非常に苦慮されている。

物揚げ場の改修として、浮棧橋方式、簡易クレーン方式、ポンツーン方式があるが、県内でもポンツーン方式の改修が一般的で、水産庁も奨励している。検討いただきたい。

町長 国費レベルの補助対象事業か、県費なのか、町単独なのか、そこも含めた形で取り組めます。



浮棧橋 (ポンツーン)

議員のひとり言

空き家対策で定住促進に繋がりたい……

有害鳥獣対策について



議員

鳥獣被害は年々増大し、本町のみならず全国各地同様の問題が発生している。特に中山間地域等においては、耕作放棄地等が増大し、鳥獣の住み家となり、ますます鳥獣被害が増加し、耕作意欲の低下につながり、自給率の減少を招いている。

このような地域において、現在各自治体で実施できる有害鳥獣対策等では、今後、農地を保全しながら農業振興を図ることは限界がある。他自治体と連携し、国等に政策の見直しを提言すべき時期に来ていると考えるが。

町長

近隣市町においても、耕作放棄地は増加傾向にあることから、現施策の抜本的な見直しは重要であると認識しておりますので、連携して早急な制度の見直しに取り組んでまいります。

議員

農地を守るためのワイヤーメッシュや電気柵等の設置、耕作放棄地を解消し農地を維持する組織の設置、或いは、事業者等に工事発注などを地方公共団体が



ワイヤーメッシュ防護柵



電気柵

う場合、国費で賄える施策を講じてもらえれば問題の解決につながり、我が国の中山間地域農業の振興にも一助になると考えるが。

町長

議員からありましたとおり、近隣市町とのいろんな連携の中で話を一番目に出していきながら、私が聞いた様々な意見を含めて取り組んでいきたいと考えています。

議員

この同様の質問を大隅半島4市5町の議会で、9月議会と12月議会において出される予定です。

大隅半島4市5町の執行部と議会が一丸となつてこの問題に向けて歩を進めていくことが肝要なことだと思いますが、町長の見解をもう一度聞く。

町長

有害鳥獣対策駆除の対応につきましても、それぞれの市町が、こういった環境でありますので、それぞれの町の議会から出た要望を、それぞれの町の首長で早急に取り組んでいけるように頑張っていきたいと思えます。

議員

この対策費を国費で賄い、その事業費で柔軟に地方自

治体が行使できるような取り組みを国に提言していく、そのことを4市5町の首長でも我々議会でも取り組んでいきたい。



箱わなで捕獲されたイノシシ

町補助金（経済課事業）

- ・ 狩猟免許新規取得者補助事業
- ・ 狩猟免許登録申請手数料補助事業
- ・ 有害鳥獣捕獲箱わな購入事業
- ・ 鳥獣害防止施設整備事業（電気柵・ワイヤーメッシュ）
- ・ 鳥獣害防止総合支援事業
- ・ 畜産施設等整備事業（畜産鳥獣対策整備事業）

動物の愛護及び管理について



町長 動物愛護の観点から支援のあり方等については現状調査を行い、条例制定を含めて検討して参ります

議員 野良猫や多頭飼育の相談が多い。不妊・去勢手術料金が高い事も猫が捨てられる理由の一つで、野良猫が増える原因と考えられるが、飼いに手術料の助成は考えられないか。

町長 自己責任で行っていただくのが基本だと考えております。

議員 地域猫と呼ばれる猫がいま

す。地域猫とは、地域の理解を得て、住民の認知と合意が得られている特定の飼い主のいない猫のことです。本県でも猫に関する生活環境被害の苦情が多く寄せられるためルールを定め、一代限りの命を全うするまで地域内で飼育・管理を行う地域猫活動を普及・定着させるため活動団体に補助金交付要綱を定めています。本町でこの活動を推進しているか。



町保健課 地域猫活動をしている団体への助成もあるので、地域猫については広がって欲しいと思っております。

議員 行政が中心となって地域猫活動を広めていってほしい。不幸な動物がこれ以上増えないために早期の条例制定を期待します。

医師会立病院建て替えについて

議員 医師会立病院は入院病床を有する地域医療の核として非常に重要だと考えるが、人口が減少してきている中、10年後、20年後を見据えた計画も必要では。基本構想は57億4千万円とのことだが、財源はどこから出るのか。

町保健課 補助金を使えるのか、地方債を使えるのか調査をしている状況です。全体の事業費が最小限となるよう努力しています。

議員 大規模事業です。予算や規模の変更などあった場合、町民に分かりやすくその都度報告をしてください。どのような病院がいいかなど、アンケート調査や説明会をする考えはないか。

町長 住民の方々は、場所や診療科目等に興味があると聞いておりますので幅広い周知の方法で考えていき、その会議の中で進言していきたいと考えております。

議員 一人でも多くの町民の声が反映され、かつ、将来を見据えた病院建設を目指していただきたい。

新型コロナウイルス対策

議員 これまでのコロナ対策と支援策の評価をどのように考えるか。

町長 「町民の感染予防」「生活支援」「事業経営継続支援」対策に取り組んでおりバランスよく支援策が講じられていると感じております。

議員 消費が低迷している町内業者の支援策として、町に帰省し家族や親戚などに町内の特産品を送る。送料は町が負担する企画をしたら町に活気が戻ると考えるが、町には多くの特産品があります。また、年末にかけてポンカンなどの柑橘類も多く出回る。地産地消にもなると思うが。

町長 感染症の状況を見据え、経済活動の回復、消費活動の喚起などの支援策についても検討して参ります。年末消費に向けては、大きな経済消費活動の色々な手を打っていきま

議員 町民も町の経済対策に期待していますので頑張っていたいただきたい。

動物を飼う覚悟と責任を忘れず、動物と共存できる条例を。

議員のひとり言

耕作放棄地の 解消対策について



現状と今後の見通しは

町長 耕作放棄地については、担い手農家の減少などで増

加傾向にあることは否めません。令和2年度における本町の面積は88ha（根占地区54ha、佐多地区34ha）であります。

今後の見通しについても、年々生産年齢の高齢化に伴って厳しい状況に変わりはありません。

議員 耕作放棄地は、日本の高度経済成長期から徐々に増

え続けて、全国でも深刻化している空き家問題と並んで大きな課題である。その要因として、田舎から都会へと人が流れ、人口が減り、農業者の高齢化や担い手不足、更に収入減少や狭小面積の農地、そして近年に至っては有害鳥獣被害などの様々な要因が重なり、この問題の深刻さを痛感します。

過去との比較は

経課 過去3年間の状況は、平成30年度が69ha、令和元年度が66ha、令和2年度が88haを

確認しています。

議員 令和2年度は、前年度と比較すると22ha増加している

が荒廃化が急進しているように思える。平地などの優良農地が耕作放棄とならないことを願う。

解消策となるような 農作物の推進は

町長 経済課では農地再生支援事業、農業委員会では遊休

農地や耕作放棄地の発生防止・解消を図る耕作放棄地農地復旧謝金事業を進めており、解消した農地ではサツマイモやしきみ、ひさかきの特用林産物の作付けが進んでいます。今後も解消の目的に沿っ

畜産飼料作付けへの 活用は

議員 畜産の輸入飼料の価格が高騰し、畜産農家が打撃を

受けている現状があるが、この畜産飼料（特に、トウモロコシや麦大豆といった濃厚飼料）の自給率向上と併せて、この耕作放棄地の活用は考えられないか。

また、耕作放棄地解消を目的とした作物に対する補助金制度を、国県に要望していく考えは。

町長 輸入飼料の問題は承知しているが、国レベルでの考

え方が大きく作用すると考えます。また、遊休農地を活用しての飼料作物の生産は、コスト面を考慮すると輸入飼料に対抗できるかという問題があります。作物に対する補助金制度は、農家を育成する上から必要性を感じます。

議員 濃厚飼料の生産について

は圃場整備や機械導入などが、確かに設備投資が必要と考えるが、優良事例を見ると市町村が初期の整備を実施して貸付けている事例

もある。いずれにしても輸入飼料高騰に関しては緊張感を持って注視して欲しい。

農業公社の事業内容として耕作放棄地の解消 に取り組む考えは

町長 本町の現状を踏まえ必要な施策について協議検討す

る中で、耕作放棄地の解消への取り組みも、検討項目の一つとして考えます。

専属部署の設置を

議員 専門性を持った人材で組織する、例えば「耕作放棄

地対策室」的な部署やチーム編成を期待する。



耕作放棄地解消の一例「景観植物」

議員のひとり言

奥の深い問題で、要点を絞れない漠然とした質問になってしまった。反省。

副町長職を選任する考えは



町長 しかるべき時期に選任を行い、議会にお諮りする考えです。

議員 核最終処分場賛成派の方が、副町長になるのではと、町民の方々が心配しているが。

町長 いつさい、ございませぬ。

議員 町民の方々が安心されます。では、どのような人選をするのか。

町長 今後、私がつっていくべき方向性に対して理解して頂ける方を選任していくべきかと考えています。

議員 町長不在時に、自然災害や人的災害や事故等に対して、町長指示のもと危機管理ができ、町長に助言や意見、相談される方が必要だと思う。

多目的健康広場の環境整備について

議員 雨の後がぬかるむが、砂を入れる以外に方法はないのか。

育興長 教振課 排水対策をしているが、大雨や長雨がずっと水が浸透するまで時間を要するようです。

議員 また、施工された業者に相談され何か対策があれば検討していただきたい。

※その他にも質問しました。

④日陰対策 ⑤簡易テントの貸出は可能で、協会等の要望があれば広場の倉庫に置く事も可能です。

⑥ベンチの造設は ⑦協会等の意見も参考に今後、検討します。

町民の方々が、快適に使いやすい環境になるようにしていただきたい。

町内の交通サービスについて(佐多地区)

議員 町内の交通サービスで見直す点はないのか。

町長 今後、町内全域にコミュニティバス等の運行についてアンケートを実施する予定で、結果を踏まえ、利用者の意向に沿った、利用しやすい運行方法を模索していきます。

議員 辺塚のコミュニティバスが通つてない所でも要望があれば検討できるか。

町長 中郷の公民館から村山に抜ける道の要望は聞いています。

まずは道路の整備や支障木等の整備をしてからで、佐多地区に限らず、根占横別府・城内地区もあるので、細かい部分まで網羅できるようにして、細いバス等を運用しながらすべてに対して手の届く対応ができるようにして考えます。

議員 辺塚校区でトヨタの基金を活用され、買い物支援を実施されているが、どのような取組みか。

企画課 昨年度から実施し、貨客混載運行による買い物の実証運行を

行っています。コミュニティバスを活用し、辺塚にいて商品だけがバスで運ばれて受取る取組みです。火曜日に注文書と現金をバスの運転手に渡し、木曜日に品物を路線上で受取る仕組みで現在1名が利用しています。

議員 大中尾も商店が閉店され、買い物弱者の方が他の地域でもたくさんいると思います。改良してそれを拡大していただきたい。

今回は、佐多地区の交通サービスについてでしたが、根占地区でも山間部などバスが通つてない所もあるので、アンケートを取り、聞き取りをして、可能な限り個別対応していただきたいです。町民にとって町の交通サービスは欠かせないし、地域の活性化の為に必要なので検討して、より町民の方が利用できるようにしていただきたい。

※その他にも質問しました

⑧松山・折山線のコミュニティバスの利用者が鹿屋へ行く際の、時間調整はできないか。⑨軽微な時間調整等なら対応が可能です。利用者に聞き取りをします。

⑩①各診療所・送迎バス・薬局との連携・役割について②薬局の現状・意義・薬の配達について③薬の配達料について負担軽減に繋がる提案をしました。④各診療所に意見箱を設置して協議します。

交通移動弱者を取り残さない仕組みを!!

議員のひとり言

森田 重義 議員

危機管理体制について

コロナ感染者が、町内で発生した場合の対応と体制は

町長 町としては対策本部設置、県保健所が入院手配を行います

議員 心配している事は「正確な情報把握ができているのか」正確な情報があつてこそ、誹謗中傷の抑止と考えるが、また、自宅療養となった場合の食糧支援・体調管理支援体制は取れているのか。

町保健課 正確な情報を町民の皆様へ提供することが大切と考えております。現実な情報をいち早く収集し、迅速な情報提供に努めているところでございますが、県は、市町村へは濃厚接触者・感染者の情報は流さない姿勢を取っております。国は、県に市町村に情報提供しながら連携を図るよう通知が来ておりますので、変わって来ると考えてお

小・中学校等の「密」防止対策について

教育長 地方創生臨時交付金を活用して学習支援及び感染症対策の整備をしています

教育長 具体的には、空気清浄機・サーキュレーター大型換気扇・加湿器・次

亜塩素酸水精製器・AIサーモスカメラ・冷水器等を導入しました。



議員 今後寒くなる時期、換気ができない状況が予想されます。また、大雨

台風時の避難所施設、保育園・学童・老人福

大雨・台風時の避難所対応について

町長 避難所運営マニュアルを、昨年5月に策定今年度、職員用簡易マニュアルを作ります

総務課 迅速な避難所の開設及び感染症拡大防止対策を図りながら、適切な避難所運営に向け取り組んでいます。避難所一

議員 筒所につき職員1名、役場消防隊1名の2名体制です。避難者が多い筒所は増員対応しております。

議員 昨年9月、台風10号で避難指示発令され、避難者が多数おられました。避難者が多くなつてからの増員では職員も危険となるため、開設時から3名から4名体制が安全に対応できると思う。

また、各避難所の収容人数設定・備蓄品の準備はできているのか。

総務課 指定避難所22箇所、収容人数5,250名、発電機25台、大型扇風機

25台等、消毒剤などを備蓄しているところでございます。

議員 指定避難所への表示看板設置を望みます。

社センター等、空気清浄機または、風除壁整備が必要と考えます。各施設の状況に合わせ設備の導入を今後引き続き望みます。

議員 町内経済支援策について。

町長 事業継続と雇用維持の観点から、本町独自の支援策を検討中です。

議員 河川寄洲・土砂災害・冠水対策は。

町長 河川寄洲は、県に要請しています。災害に強い町づくりの必要性を十分認識しています。

議員 街路灯老朽化による倒壊等の防止計画は。

町長 具体的な改修計画はありませんが、商工会・通り会・商工観光課と協議してまいります。

議員 倒壊防止のため、継続要請と、国の補助事業をうまく活用し、改修計画できることを望みます。

備えあれば憂いなし

議員のひとり言

総務民生常任委員会 所管事務調査での改善箇所

令和3年6月30日の所管事務調査（南大隅高校職員住宅から針馬場への交差路）において、通学路でもあり安全確保が行えるよう要望し、左記のように改善されました。



新しく整備した道路表示・規制標識



南大隅町議会 広報広聴常任委員会では、議会広報誌のモニターを募集しています。
年4回発行される「みんなの議会」に対して、皆様のご意見やご感想をいただき、今後の議会広報活動に活かしていきたいと考えています。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

【連絡先】

南大隅町議会事務局

☎0994・24・3141

編集後記

地震・豪雨・噴火・感染症：

災害はいつ起こってもおかしくありません。

災害は必ず起きるものだと思定しておくべきものです。新型コロナウイルスの蔓延で生活スタイルは一変しました。

今こそ、みんなで考え、行動することが求められています。

「悲観的に準備し、楽観的に対処せよ」

起こりうる最悪の事態を想定し、それに備えられれば、何が起ころうとも想定内と、対処できます。

この考え方は災害時のみならず、日常生活でも活かされると思っています。

「自助」「共助」「公助」一人一人がともに助け合い地域を守る。

逆に、「公助」「共助」「自助」地域（行政）が計画的に備えられれば、団体・個人を助けることができる。

南大隅町はこうありたいものです。

森田 重義

表紙ともう一景

「根占中男子 1500 走」



【お知らせ】

12月会議は、9日（一般質問）、10日（一般質問）、17日に本庁議事堂で開催予定です。「みんなの議会」で見ることができない議会が、ご覧になれます。詳しい日程等は議会事務局までお問い合わせください。

【発行責任者】

議長 松元 勇治
広報広聴常任委員会

- 委員長 幸福 恵吾
- 副委員長 後藤 道子
- 委員 森田 重義
- 委員 上之園 健三
- 委員 平瀬 十助
- 委員 大坪 満寿子